

バス研修会を行いました

緑町三丁目町会 大平高司

クリーンセンター運営協議会は、10月7日(日)秋晴れの下、施設の周辺地域4団体の住民67名でバス研修会を実施し、千葉県の芝山古墳・はにわ博物館と航空科学博物館に行きました。

千葉県は古墳がとても多く、遺跡の宝庫と言われています。最初の見学先である芝山古墳・はにわ博物館では、人物や馬など、さまざまなはにわや土器とともに、竪穴式住居も展示され、古代の生活に思いを馳せることができました。

午後から見学した航空科学博物館は、成田空港に隣接しており、ひっきりなく離着陸するさまざまな国の飛行機を間近に見ながら、航空機の変遷を知ることができました。実際に活躍したYS11型試作1号機から最新のジャンボ機など、さまざまな航空機の展示に触れ、シミュレーター体験ではパイロット気分になり、大人も子どももともに夢見る心地になったひとときでした。



上/航空科学博物館の屋内外には本物の飛行機が並んでいます。屋上からは成田空港から飛び立つ飛行機が間近に見られました。左/シミュレーター体験に夢中です!

新しい環境啓発施設 エコプラザ(仮称)整備に向けて

エコプラザ(仮称)(以下、エコプラザ)は、クリーンセンターの建て替えに伴い、市民参加で検討する新クリーンセンター施設・周辺整備協議会(以下施設・周辺整備協議会)の議論の中で、ごみ処理施設とともに提案された、旧クリーンセンターの事務所棟とプラットホームを残し、改修して再利用する環境啓発施設です。

施設・周辺整備協議会は、エコプラザ→市役所北エリアの整備→周辺まちづくりの順で検討を進め、平成29年2月に「エコプラザ事業のあり方中間まとめ」を出しました。市は第五期長期計画・調整計画の中で、ごみを含む環境全般の施設とする方針を立て、さらに広く市民で検討するためエコプラザ検討市民会議(以下、市民会議)を設置し、施設・周辺整備協議会の「中間まとめ」を基に議論を重ねてきました。

平成30年8月、市民会議は検討をまとめ、市はこれを受けて「市の基本的な考え方(案)」を公表し、パブリックコメント、オープンハウス、ワークショップなどで市民の意見を集め、11月に「エコプラザ(仮称)の整備に向けた市の基本的な考え方」を決定しました。

現在、市民会議で管理運営などについて検討を進めており、さらに市民の意見を聴く予定です。その後、今年度中に旧事務所棟の改修の設計、来年度に改修工事、2020年11月に、エコプラザ開設の予定です。



工事中
NOW

2018.12
新管理棟の建設と旧事務所棟耐震工事など

平成30年9月末に旧クリーンセンター工場棟部分の解体工事が終了し、新管理棟工事、煙突の基礎部分の耐震補強工事が始まっています。

また、環境啓発施設として再利用する旧事務所棟も、耐震性向上のため12月から3階部分の撤去工事が行われています。

* 編集後記 *

昨年は、少しずつですがクリーンセンターの屋上菜園や生ごみ堆肥づくりのボランティアに参加し、さまざまなことを学び、発見、出会いがありました。クリーンセンターは多くの人に支えられています。ぜひたくさんの方々を知ってほしいです。みなさんも気軽に参加してみませんか。(木村 文)

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5
武蔵野クリーンセンター内
電話: 0422-54-1221
●武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

この広報は、再生紙を使用しています。

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 71

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された周辺3地域4団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

CONTENTS

- P1...クリーンセンターのイベント
- P2...クリーンセンター運営協議会エコ広場
- P4...バス研修会を行いました
工事中NOW
新しい環境啓発施設
エコプラザ(仮称)整備に向けて

クリーンセンターのイベント

新しいクリーンセンターでは、以前にも増して多くのイベントが開催されるようになりました。特に秋に集中しており、毎週のように行われています。

多くはクリーンセンターの運営をする(株)むさしのEサービスによるものです。エコマルシェ(年3回)、オープンハーヴェスト(収穫祭)、子どもワークショップなどを行ってきました。

昨年度から環境フェスタもクリーンセンターで開催されています。また、昨年末から実証実験として期間限定で開催しているごみピットバーも好評です。他にもさまざまな催しが行われています。いずれも施設見学が組み込まれ、エコライフにこだわった内容で、ライフスタイルを見直し、ごみの減量・資源化につなげたいというねらいがあります。

一方、運営協議会も毎年さまざまな形でイベントを開催しています。環境に関する講演会、ごみを燃やす熱を利用した足湯、フリーマーケット、廃材を使ったワークショップなどとともに、工場見学をあわせて行ってきました。また、おもちゃのかえっこにはおもちゃ病院の併設、地元中学校吹奏楽部などのミニコンサート、地元野菜の販売、廃材を使ったワークショップなどに多くの方々のご協力をいただけてきました。

運営協議会の「多くの人にクリーンセンターを見てほしい、ごみ処理を知って生活を見直し、ごみ減量や資源化につなげてほしい、周辺地域の交流と活性化につなげたい」という思いを込めた、地元ならではの手作りの催しは今につながっています。

右・下/平成30年11月24日開催のオープン・ハーヴェスト(収穫祭)は、環境と食のイベント。外では屋上菜園の作物を使ったピザの販売、環境に配慮した飲食店や雑貨の屋台が並びました。クリーンセンター2階では、食に関するワークショップが行われました。



左/クリーンセンターの屋上菜園



平成27年10月ごみから学ぶワークショップ広場。当時、ごみを搬入するプラットホームでのイベント開催は画期的でした。

クリーンセンター運営協議会

エコ広場



平成 30年12月2日(日)、クリーンセンター2階で、運営協議会イベント「エコ広場」を開催し、約150名が来場しました。

まず、施設見学クイズラリーで見学者コースで楽しく学習してから、ワークショップと落書きアートに回りました。今年は、吉祥寺を中心に活動する子育てママの団体、NPO 法人プレシャスネットの協力でアイデアいっぱいの催しになり、親子で楽しむ姿が多く見られました。

クリーンセンターを
楽しく学べる
施設見学
クイズラリー



いくつ
わかるかな？



ごみを燃やす焼却炉の
温度は何度かな？

えーと、
何度かな？

まわりを
よく見ると
ヒントがあるよ

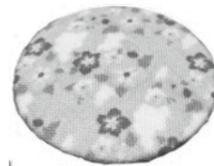
クリーンセンターの運転を管理する中央制御室

見学者コース中にクイズが4つ出されていて、全部答えるとプレゼントがもらえます。

〈クイズ〉(1)クリーンセンターで、ごみを燃やして発電した電気はどうする？ ①市役所、総合体育館、緑町コミュニティセンターへ送る ②武蔵野第四中学校へ送る ③どこにも送っていない (2)不燃ごみに入れてはいけないものはどれ？(いくつでも) ①ゲーム ②携帯電話 ③電動歯ブラシ ④電気カミソリ ⑤タブレット (3)クリーンセンターで、ごみを燃やしたあとに出る灰はどうする？ ①市内に埋めている ②灰は出ない ③エコセメントに加工 (4)ごみを燃やす焼却炉の温度は？ ①約100度 ②約950度 ③約3000度
答え(1)① (2)全部 (3)③ (4)②



●松ぼっくりツリーデコ
松ぼっくりに好きなビーズを飾り、ペットのふたに固定すると、かわいいツリーのできあがり。



●ハギレ de マグネット
ハギレを貼ると、市販のマグネットがかわいく変身！



●レジン de ストラップ
レジンの中にビーズやキラキラの粉を封じ込めました。



●クリスマスリースデコ
粘土で作ってあるパーツを貼り付けて、手作りオーナメントを作りました。パーツの完成度が高くてかわいい！



クリスマスに向けて、不要なボタンやビーズ、ハギレなども使って、クリスマスグッズや雑貨を作りました。大人も子どもも一緒に夢中になってパーツを選んだり、くっつけたりして楽しみました。

不要なハギレや
ビーズを使って
ワークショップ



こうして
ああして…

どれを付けようか
迷っちゃうわ！

落書きアートで
まちをつくらう



こんな公園で
遊びたいな

どんな町に
しようかな

大きな紙に色鉛筆で自由に落書きをして、みんなで大きな町を描きました。作品は、クリーンセンターに12月末～1月18日、子どもたちの冬休みに合わせて展示されました。